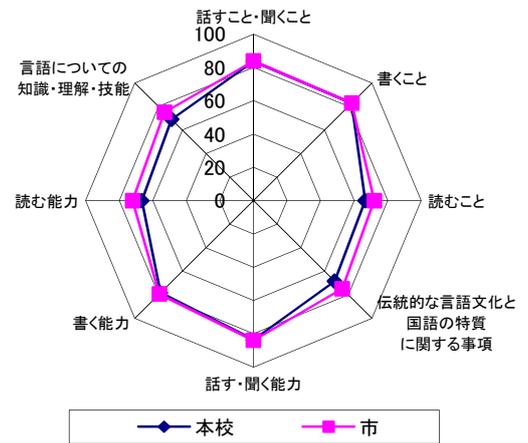


# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	83.6	83.9	83.1
	書くこと	82.8	82.9	68.6
	読むこと	66.6	72.0	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.4	74.8	68.7
観点別	話す・聞く能力	83.6	83.9	83.1
	書く能力	78.3	79.3	67.0
	読む能力	66.6	72.0	67.8
	言語についての知識・理解・技能	69.1	75.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

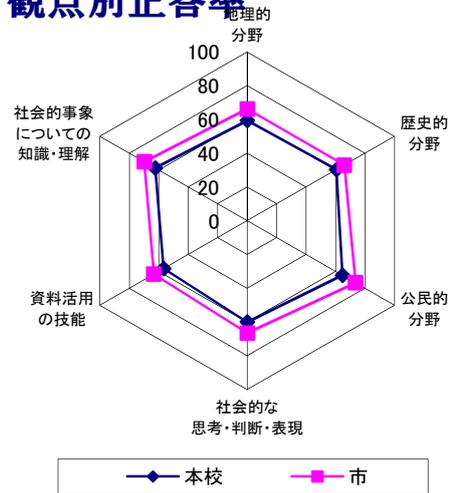
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○話し手の意見に対して自分の考えを持ち、意見を述べる問題では、市の正答率に比べ0.3ポイント、聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取る問題では1.3ポイント高かった。</p> <p>●話の内容を正確に聞き取る問題では市の正答率に比べ1.8ポイント、司会者の工夫についての問題では1.1ポイント低かった。</p>	<p>・聞き取り問題で要点を聞き取り、メモする能力を伸ばしていく。また、授業の中にも話し合い活動を積極的に取り入れていく。その中で、「きくこと」の力を育成することにより、話し合うスキルの向上を目指していきたい。</p>
書くこと	<p>○平均正答率は市の平均とほぼ同じであった。文字数や構成、立場を明確にして書くという条件は市の正答率を上回っていた。</p> <p>●自分のとった立場の理由を書くことが市の正答率に比べ5.7ポイントと大きく下回っていた。</p>	<p>・「書くこと」の領域では、構成や文章表現について学び、短作文で練習をしたり、お互いに推敲したりして書くポイントを学んだ。さらに、様々な課題作文に挑戦して書くことに対する抵抗感をなくしていった。今後も引き続き、書く課題を定期的に設けて、添削をして返却していきたい。</p>
読むこと	<p>●それぞれの問題に対して市の正答率を下回っていた。特に書き手の論理の展開の仕方を的確に理解する問題では12.6ポイントも低かった。</p>	<p>・読み取るにあたってのポイントは授業で学んではいるものの、教材文以外の文章ではその技術を生かして読み取ることができていないことが課題である。教科書にある教材文だけでなく、他の文章も平行して読む活動を取り入れていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○漢字の書き取り「く(暮)れる」の正答率は0.8ポイント、歴史的仮名遣い「思ふやう」を現代仮名遣い「おもうよう」に直す問題は4.1ポイント高かった。</p> <p>●漢字の読み取り「頻繁(ひんぱん)」や「伴う(ともなう)」や書き取り「はいゆう(俳優)」,「やすい(易い)」は約10ポイント低かった。</p>	<p>・新出漢字の練習を各単元に合わせて行っていく。また、既習漢字の定着を図るために、反復練習やミニテストなどを実施していく。</p> <p>・文法事項や敬語、語句についてもその単位にとどまらずに、興味をもって学習したりつながりをもって知識が定着したりするように工夫していく。</p>

# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	59.3	66.2	58.0
	歴史的分野	60.5	65.8	60.8
	公民的分野	64.7	73.5	69.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	60.0	66.6	58.6
	資料活用の技能	56.7	63.4	55.9
	社会的事象についての知識・理解	62.4	69.8	64.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



## ★指導の工夫と改善

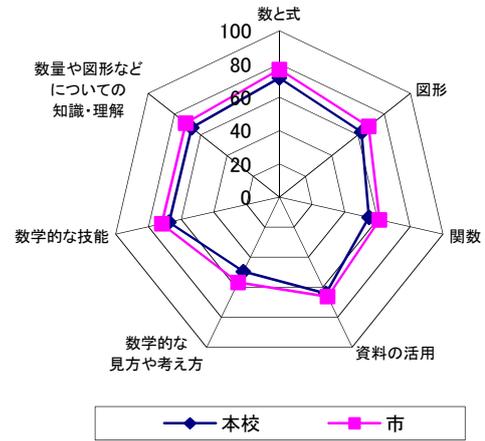
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>○世界の諸地域、特にヨーロッパ州に関する問題に関しては、市の平均と同程度の正答率である。</p> <p>●日本の諸地域に関する問題については、正答率がすべて市の平均より低かった。また資料を読み取る問題、そこからわかることを文章でまとめる問題に関しては市の平均を10ポイント以上下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>○資料集などを活用し、資料に慣れていくようにする。また、そこからわかることを文章で記述できるよう、授業で使用するワークシート等の工夫・改善を行う。</p> <p>●基本的な知識の定着を図るため、既習の内容を振り返るための小テストや単元テストを行う。</p>
歴史的分野	<p>○中世の東アジアに関する問題では0.9ポイント、蘭学者に関する問題では0.3ポイント、日本の産業革命に関する問題では、市の平均を0.6ポイント上回った。資料を読み取る問題はおおむねできていた。</p> <p>●現代の日本に関する問題が市の平均を10ポイント以上下回っている。特に戦後の国際情勢が</p>	<p>●基本的な歴史の流れを理解するために、年表を活用して時代を大観することができる力を身に付けさせる。</p> <p>●人物名や出来事などの歴史的な用語を覚えようとするあまり、内容まで覚えていない生徒が多く見られる。人物とその業績、出来事の原因と結果をまとめることができるよう、ワークシート等の工夫を行っていく。</p>
公民的分野	<p>○現代社会に関する問題、少子高齢化に関する問題、新しい権利に関する問題、裁判に関する問題については正答率が75ポイントを上回っている。</p> <p>●憲法改正の問題では市の平均より31.5ポイント下回っている。また、地方自治の手続きに関する問題では16ポイント下回っていた。</p>	<p>●憲法改正や直接請求権の手続きでは、三分の二や二分の一など数字が関わる部分があり、その混同が多く見られる。教科書や資料集にある図を活用し、手続きの流れを押さえるとともに、数字の混同がないよう定着を図る。</p>

# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	71.7	76.7	72.6
	図形	62.7	68.1	63.8
	関数	54.8	61.2	54.4
	資料の活用	64.2	66.3	55.4
観点別	数学的な見方や考え方	49.6	56.8	50.8
	数学的な技能	67.4	71.9	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	66.9	71.4	63.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

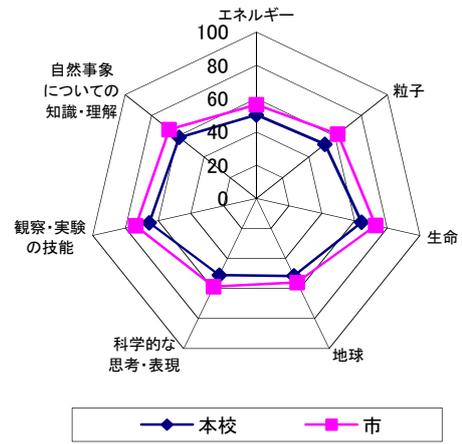
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○数学的な技能を観点とする計算問題は、約70%が解くことができている。 ●活用の面で、文章問題に対して立式したり意味を説明したりする問題の正答率が低い。	・学習内容が進んでも、既習事項をおさえながら、定着度に応じた計算練習をワークシートを工夫しながら行う。 ・計算上の規則だけを強調するのではなく、それが成り立つ理由を丁寧に教える。
図形	○空間図形における辺の位置関係は理解されている。 ●証明問題での記述で、無解答や証明につながらない解答が60%近い。	・証明問題については、書くことに対して面倒くさいという意識が大きい。何に注目したらよいのかなど、論証の筋道を丁寧に指導する。初めは、パターンの練習を行っていく。
関数	○身近な事例が多い比例関係を式に表す問題の正答率が市の平均と同等であった。 ●2乗に比例する関数では、文章問題を読み取り活用することができていない。	・ともなって変わる2つの数量には、いろいろな関係があることに興味を持たせる。表に表された関係を式で表すことができることと、グラフで視覚化できることのよさと関連を繰り返し教える。
資料の活用	○1年の相対度数など、用語の意味が定着しており正答率も市の平均よりも高い。 ●さいころやコインに関する確率の問題の正答率が市の平均を下回っていた。	・確率では、文章を読み取って場面を把握する力が必要であるため、樹形図やパターン分けなど順序よく考えて分かりやすくする方法について指導する。 ・身の回りの題材からグラフ化したり、分析を試みたりすることを通して、相対度数、階級、代表値等の用語を身近に感じられるようにする。

# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	50.2	56.4	49.9
	粒子	52.3	62.0	57.4
	生命	64.3	72.9	67.1
	地球	51.6	56.0	48.5
観点別	科学的な思考・表現	51.1	58.8	52.1
	観察・実験の技能	65.5	73.8	67.6
	自然事象についての知識・理解	58.9	66.5	61.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

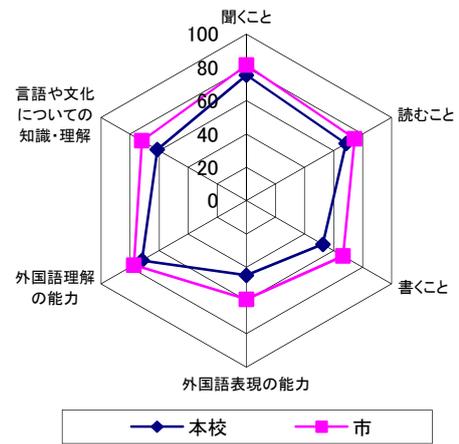
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全反射など、知識理解の関する問題は市の平均を上まわっている。</li> <li>● 電流の性質では、科学的思考・表現、活用が伴う問題の正答率が低い。また、エネルギーと仕事の問題でも同様の傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算問題に苦手意識がある生徒が多いので、計算・作図・グラフなど、基本的な問題を繰り返し練習することで定着を図る。</li> <li>・ 導入や発問を工夫し、得た知識を実生活の中でどのように使用されているのか、また、どのような使用ができるのかを考えたりする思考力をつけていく。</li> </ul>
粒子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水溶液の問題で、観察・実験の技能の観点の問題では、正答率が高い。</li> <li>● 化学変化と物質の質量の問題では、科学的思考・表現をを伴う問題の正答率が低い。</li> <li>● 水溶液とイオンの問題では、自然現象についての知識・理解の問題であるが、正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコンや、動画などを使用して、目に見えないものを、イメージとしてとらえる思考力をつけたい。</li> <li>・ 観察・実験を目的を持って意欲的に取り組むようにするため、ねらいを明確にし、順序立てて授業を行う。</li> </ul>
生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物の体のつくりとはたらきの問題では、観点が自然現象についての知識・理解や観察・実験の技能の問題では、正答率が高い。</li> <li>● 生物の成長を生殖の問題では、主要な観点は、知識・理解であるが、従たる観点として科学的思考を含む問題であり、正答率が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物は、身近に観察・実験できるものなので関心は高い。導入や発問を工夫し、生命の誕生から次の世代にといった時間の経過による変化にも興味を持たせたい。</li> </ul>
地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 火山活動と火成岩の問題では、岩石の種類がわかるという観点が、知識理解の問題で市の平均を上まわっている。</li> <li>○ 前線の通過と天気の変化の問題では、天気の変化から前線の通過を推測できる問題の正答率が、市の平均を上まわっている。</li> <li>● 火山活動と火成岩の問題で、火成岩の特徴から火山の形とマグマの粘性を推測できるような考え方ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入や発問を工夫し、知識・理解から、観察・実験、さらに思考表現へとつながりのある授業形態を心がけていきたい。</li> </ul>

# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	75.4	81.4	76.1
	読むこと	68.6	74.4	71.2
	書くこと	52.6	66.5	60.7
観点別	外国語表現の能力	44.9	59.3	51.7
	外国語理解の能力	71.9	77.5	72.8
	言語や文化についての知識・理解	61.4	72.0	69.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が6ポイント低くなっている。</p> <p>○絵を適切に表している英文を聞き取る問題では、特に、使う目的や天気についての問題で、市の平均とほぼ同様に95%を超えている。</p>	<p>・授業時間に、できるだけCDやALTとの英語を聞く機会を増やし、英語を聞くことに慣れるようにする。また、さまざまな場面設定において、予測しながら聞き取るトレーニングを増やしていくようにする。</p>
読むこと	<p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が5.8ポイント低くなっている。</p> <p>○英文の情報・条件をもとに、適切な絵を選ぶ問題、代名詞themの内容を把握する問題では、市の平均とほぼ同様に85%を超えている。</p>	<p>・対話の流れと表から、登場人物の適切な発言を判断する問題を苦手としているので、場面に応じた質問の仕方や答え方を練習する必要がある。</p>
書くこと	<p>●全体として市全体の平均を下回り、平均正答率が13.9ポイント低くなっている。</p> <p>○SV00の文を正しい語順で書く問題では、市の平均には及ばないが、75%を超えてできている。</p>	<p>・単語の並べかえによる英作文の練習を多く行う。また、語彙力を上げるために、単語の復習をこまめにするようにする。</p>